

「農産物の安全・安心、農業における環境配慮」についてのアンケート報告

県民の皆さんが、農産物、農薬・化学肥料に対してどのように考えられているか、その意識傾向を把握するために、「農産物の安全・安心、農業における環境配慮」についてのアンケートを実施しました。

アンケートにご協力いただきましたe-モニターの皆さまにお礼を申し上げますとともに、アンケートの実施結果を、下記のとおりご報告申し上げます。

1 アンケート実施期間

平成20年7月4日（金）から7月21日（月）まで

2 意見募集の結果

- (1) 対象者数 1, 146名
- (2) 回答者数 823名
- (3) 回答率 71%

3 属性

- (1) 性別 男性：53%、女性：47%
- (2) 年代別

| 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 12% | 25% | 24% | 21% | 14% | 4% |

4 アンケート結果

Q1、Q3

国内農産物に対して、人にやさしい（安全・安心）と「思う」、又は「どちらかというと思う」の回答は、78%でした。

また、自然にやさしい（環境に配慮している）と「思う」、又は「どちらかというと思う」の回答は、56%でした。

Q2、Q4

国内全体と比較した三重県内農産物に対して、人にやさしい（安全・安心）と「思う」、又は「どちらかというと思う」の回答は、67%でした。

また、自然にやさしい（環境に配慮している）と「思う」、又は「どちらかというと思う」の回答は、50%でした。

Q5、Q6

化学肥料使用に対して、「適正使用であればよい」の回答が57%に対して、「使用しない方がよい」が34%、「使用してはいけない」が1%でした。

「使用しない方がよい」、又は「使用してはいけない」の回答を頂いた304名の方にその理由を伺ったところ、「人に対して安全でない」、「環境に影響がある」、「適

正に使用されているかどうか不安」が30%前後と、ほぼ同じ割合でした。

Q7、Q8

農薬使用に対して、「適正使用であればよい」の回答が41%に対して、「使用しない方がよい」が51%、「使用してはいけない」が5%でした。

「使用しない方がよい」、又は「使用してはいけない」の回答を頂いた463名の方にその理由を伺ったところ、「人に対して安全でない」が41%と一番多く、続いて「適正に使用されているかどうか不安」が31%、「環境に影響がある」が25%でした。

Q9、Q10

有機農業について、「よく知っている（内容がわかる）」の回答が22%に対して、「知っている（聞いたことがある）」が63%、「知らない」が13%でした。

また、有機農業によって生産された農産物の印として付けられる有機JASマークについては、「よく知っている」（内容が分かる）の回答が7%に対して、「知っている（見たことがある）」が34%、「知らない」が58%でした。

後述する、有機農業によって生産された農産物に対する購入意向（82%）と比較すると、有機農業や有機農業によって生産された農産物が、十分に認識されているとはいえない状況にあると考えられます。

Q11、Q12

有機農業により生産された農産物の購入が「ある」の回答は453名（55%）で、その内230名（50%）の方は、「月1回以上」の購入でした。

すなわち、今回の調査では、全体の28%の方が、月1回以上有機農業により生産された農産物を購入していました。

Q11、Q13、Q15

有機農業により生産された農産物の購入が「ない」の回答は88名（10%）、「わからない」は282名（34%）でした。

これら370名の方に有機農業により生産された農産物の購入意向を伺ったところ、「購入したいと思う」の回答が224名（60%）、「購入したいと思わない」が16名（4%）、「どちらとも思わない」が97名（26%）、「わからない」が33名（8%）でした。

すなわち、有機農業により生産された農産物の購入が「ある」方（453名）と「購入したいと思う」方（224名）の合計は677名で、今回の調査では、全体の82%でした。

これら677名の方に購入の理由を伺ったところ、「安全面で優れている」の回答が51%、「環境保全に貢献したい」が17%、「味や栄養面で優れている」が14%等でした。

Q14

有機農業により生産された農産物の購入が「ない」又は「わからない」と回答頂き、かつ、有機農業により生産された農産物を「購入したいと思わない」、又は「どちらとも思わない」と回答頂いた113名の方に、その理由を伺ったところ、「価格が高い」の回答が25%、「特に有機農業により生産された農産物を意識していない」が20%、「表示が信頼できない」が17%等でした。

Q 1 6

有機農業により生産された農産物の購入の理由に「環境保全に貢献したい」と回答を頂いた195名の方に、どのような効果を期待するか伺ったところ、「豊かな生態系を育むこと」の回答が34%、「水をきれいに保つこと」が23%、「家畜排せつ物や稲わら等の堆肥化など資源のリサイクルにより持続的な農業が行われること」が20%等でした。

Q 1 7

有機農業により生産された農産物の適正な価格は、「2～3割高」の回答が31%、「1割高」が26%、「同程度」が12%等でした。